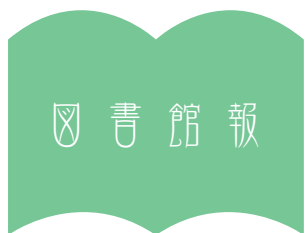




創価大学

Discover your potential
自分力の発見



2012.6 vol.17

SEASON



創価大学・創価女子短期大学 全学読書運動

Soka Book Wave 2012

開催期間：2012年4月9日～2013年1月18日

最新ランキング
全国第3位！

SBWで読書に挑戦！貸出冊数日本一を目指そう

主催：Soka Reading Project

ISSN 1349-3760

創価大学図書館 浅山 龍一館長『ルソー、エマソン、ソローの精神』… 2

特集 全学読書運動 Soka Book Wave (SBW) … 4

連載 (全4回)

CETL 山崎めぐみ准教授『大学図書館との関わり』… 6

図書館からのお知らせ … 8

図書館長 浅山龍一

「ルソー、エマソン、 ソローの精神」



略歴

1976年 創価大学文学部英文学科卒業
1982年 創価大学大学院文学研究科
英文学専攻博士課程満期退学
1974年～1975年 米国 Gustavus Adolphus College 留学
1984年 創価大学文学部英文学科就任
1998年～1999年 米国 San Diego State University Adjunct
Professor

主要著書・論文

『英語コンサルタント』（南雲堂）
『英文和訳の征服』（双文社）
『対訳フランダースの犬』（英語教育協会）
他論文多数

創立者池田大作先生は、書物のもつ力について、「たった一つの言葉にも、人生を変える力がある。たった一冊の本にも、時代を動かす力がある」（『池田大作名言100選』中央公論社）と述べられている。

皆さんはルソーの『エミール』（1762年）を読んだことがあるだろうか。「子供の発見」とも呼ばれるこの書は、どうすれば健康で、賢明な、精神

力の強い子供―自立した子供―を育てられるかについて、子供の発達段階を追いながら書き記したものである。ルソーは教える――「自然」とひとつになれ。

自然界には法則・秩序があり、これとひとつになると誰しも幸福感を味わうことができる。逆に、この法則から外れて不調和をきたすと人間も動物も病気になる、死が待っている。この自然界の法則を名付けて「神」と

呼ぶことができる、と。極めて斬新な、平等感あふれる発想である。そして権威主義的なキリスト教会の教えは間違っている」と糾弾する。憤った教会は、自分たちと結託した権力を使ってルソーを迫害。『エミール』は同年に出版された『社会契約論』（すべての人間の自由と平等を主張）とともにかき集められ、焚書の処分を受ける。ルソーは8年間の放浪の後に死ぬ。

しかし、彼の書は国内外の多くの人々に啓発を与え、時代は動く。まずはアメリカ独立戦争（1775年）である。アメリカ人は神のもとでの平等、自由・生存・幸福追求の権利を求めてイギリスと戦う。アメリカの勝利を見て、次にフランス本国の民衆が立ち上がり、自由・平等・博愛を求めるフランス革命が勃発（1789年）。しかし、革命は国内に大混乱を起こし、フ

ランスは他国から狙われる。そこで登場するのが、やはりルソーを読み、その自由・平等思想に共鳴していた（が、強い指導力が必要と感じていた）ナポレオンである。彼は啓蒙思想にもとづくヨーロッパの統合、人類の融和という壮大な計画を抱いて行動する（詳しくは、池田大作『波瀾万丈のナポレオン』（潮出版社）参照）。

さて、独立後のアメリカは、元来が信仰深い清教徒のつくった国であるうえに、「神がわれわれをイギリスから守ってくれ

た」という意識からますます信仰心が強くなった。しかし、相変わらずの、形骸化した宗教教育（聖書教育）が行われていた。そこに教会不要論を唱えたのが、やはりルソーを読んでいたエマソンである。エマソンは牧師であったが、29歳の若さで辞職。「神は自然と自然の一部である人間の中にいる」「自然の法則・宇宙の法則を感じとった者は神である」とまで展開し、人々から宗教的抑圧感を取り除こうとした。私は学生時代に彼の『自然』（1836年）や

『自己信頼』（1841年）といった作品の中にこのような考え方を見つけ、自分の眼が開かれる思いがしたことが忘れられない。これを受け継いだのがソローであり、ホーソンであり、ホイットマンである。

日本では夏目漱石がエマソン、ホーソンを読み（『それから』参照）、ホイットマンを読んでいる。おそらくソローも――。

私は『三四郎』を読むと、皆に尊敬され超然としている広田先生がエマソンに見え、事件に巻き込まれ戸惑いながらも人生を学んでいく三四郎がソローに見える。また、行動的で正義感の強い『坊っちゃん』もソローと重なる。（ソローは行動的であった！）その他、無教会主義の反戦思想家・内村鑑三が『代表的日本人』を著しており、その視

点はエマソンの『代表的人間』（1850年）を思い起こさせる。しかし、彼の書は国内外の多くの人々に啓発を与え、時代は動く。まずはアメリカ独立戦争（1775年）である。アメリカ人は神のもとでの平等、自由・生存・幸福追求の権利を求めてイギリスと戦う。アメリカの勝利を見て、次にフランス本国の民衆が立ち上がり、自由・平等・博愛を求めるフランス革命が勃発（1789年）。しかし、革命は国内に大混乱を起こし、フ

エミール（上）

ルソー著
今野一雄訳

「万物をつくる者の手をはなれるときすべてはよいものであるが、人間の手にうつるとすべてが悪くなる」という啓蒙の言葉が示すように、ルソー（1712 - 78）一流の自然礼讃、人為排斥の哲学を教育論として展開した書。ある教師がエミールという一人の平凡な人間を、誕生から結婚まで、自然という偉大な教師の指示に従って、いかに導いていくかを小説の形式で述べてゆく。



書 622.1
岩波文庫

ルソー著 今野一雄訳
『エミール（上）』岩波文庫

ルソー（1712 - 78）ならではの自然礼讃、人為排斥の哲学を教育論として展開した書。ある教師がエミールという一人の平凡な人間を、誕生から結婚まで、自然という偉大な教師の指示に従って、いかに導いていくかを小説の形式で述べていく。

本年3月、創価大学の全学読書運動は、私立大学図書館協会から協会賞決定の通知をいただいた。8年にわたって続いていた私たちの読書運動が評価されたのである。さあ、学生時代に世界の名著を読み、「時代を動かす」人材に成長しようではないか。

特集

創価大学・創価女子短期大学

SBW 全学読書運動 Soka Book Wave

参加対象

学部生・短大生・留学生

主催

Soka Reading Project

Soka Book Waveとは

創価大学全学読書運動・Soka BookWave (SBW) は、2004 年度より図書館と学生諸団体が協力して実施してきた、全学的な読書運動です。

創立者が提唱される「活字文化復興」を実現するため、創価大学、創価女子短期大学から「読書の波」を起こそう、との学生の熱意で始まりました。

SBW は学生有志と図書館職員で構成する Soka Reading Project (SRP) が企画・運営をしており、広報活動、展示企画、創大祭での読書展、特別講演会の開催など、精力的に活動をしています。

エントリーすると何ができるの？

SBW の Web サイトからエントリーを行ったのち、読書した図書の感想文やショートレビューを提出したり、各種講座に参加することでポイントがたまります。

5ポイントを集めると図書カード 1 枚 (500円分) が進呈されます。

ポイントと図書カード

楽しく読書コース

力をつける読書コース

5 ポイントにつき図書カード 1 枚 (500 円分) を進呈

各種講習会

各講座に参加するごとに 2 ポイント取得

ボーナスポイント

感想文等の提出件数が、
10, 20 件となった場合は 500 円分、
30 件となった場合は、1000 円分のポイントが付与

読書認定制度

1 級を取得すると、1 万円分の図書カードを進呈

SBW アワード

ヴィクトル・ユゴー賞 → 5000 円分
ウォルト・ホイットマン賞 → 3000 円分
レフ・トルストイ賞 → 2000 円分

図書カードを
進呈



SBW のキャラクターは学生有志の Soka Reading Project (SRP) が創り出しました。SRP になると、SBW の選書だけでなく展示企画や創大祭での読書展、特別講演会などの企画・運営をすることができます！

感想文・書評・レビューの提出

1. 楽しく読書コース

最初の 30 冊目までは、感想文またはショートレビューを提出します。
文字数はどちらも 200～400 文字です。

(1) 感想文

図書館にある本、自宅にある本などどのような本でも結構です。

感想文を提出し、承認されると 1 ポイント獲得できます。

ただし、①漫画 ②辞事典 ③写真集 ④パンフレット・小冊子 (100 頁未満) ⑤就職・資格試験等案内書 ⑥雑誌 は対象外となりますので、提出された場合、却下となります。

(2) ショートレビュー ※課題図書制度

ショートレビューは、読む本をあらかじめ指定しています。

中央図書館 2 階「SBW 推薦図書コーナー」にある、「レビュー対象図書」の中から本を選び、ショートレビューを書いてください。ショートレビューを提出し、承認されると 2 ポイント獲得できます。

2. 力をつける読書コース

31 冊目からは自動的にこのコースに切り替わり、50 冊目まで挑戦することができます。ここでは、レビューまたは書評を提出します。
文字数は、レビューが 400～600 字、書評が 1600～2000 字となります。

(1) レビュー ※課題図書制度

レビューは、あらかじめ読む本を指定しています。

SBW 推薦図書コーナーにある「レビュー対象図書」から選び、レビューを書いてください。レビューを提出し、承認されると 1 ポイント獲得できます。

(2) 書評 ※課題図書制度

書評は、読む本をあらかじめ指定しています。

SBW 推薦図書コーナーにある、「書評対象図書」から選び、書評を書いてください。書評を提出し、承認されると 2 ポイント獲得できます。

アクセス方法

「創価大学附属図書館トップページ」→「全学読書運動 Soka Book Wave」→「エントリーする」



全学読書運動 Soka Book Wave へ

エントリーして

図書カードをもらおう！

← 携帯からも SBW のエントリーや My Book Wave へのログインができます

大学図書館との関わり

連載第1回（連載全4回）

山崎めぐみ 准教授

皆様、はじめまして。学士課程教育機構／教育・学習活動支援センターの山崎めぐみと申します。この度は、このような機会を頂きまして、大変感謝しております。今回は、私がアメリカで見た大学図書館について少しお話をさせていただきます。

私は、大学院からアメリカへ留学いたしました。大学院生時代、私にとって図書館はなくてはならない存在でした。レポートのために図書館を利用することはもちろんです。1つのレポートを書くのに30程度の文献が必要になります。しかしながら、私が図書館を利用した理由はそれだけではありませんでした。普段

の授業でも内容を理解できなかったり、背景を知らないと授業のディスカッションについていけません。「アメリカ」という国の基礎知識がない私にとって、大学図書館は貴重な情報源でした。図書館司書の方々には、大変お世話になりました。

学生としての図書館の利用の仕方を理解していると思っていましたが、大学で仕事をするようになり3つの発見をしました。1つめの発見は、「ブッククラブ」です。図書館司書の方の得意分野によって、いくつもの「ブッククラブ」がありました。そこへ集まってくる学生は、あらかじめ指定された本を読み、自分の意

見や自分なら異なる結末にするなどの意見交換をしていました。

2つめの発見は、図書館司書と教員のコラボレーションです。教員が担当している授業に合わせ、図書館司書と打ち合わせをします。その授業専用のウェブページを作成してもらい、図書館ホームページからのリンクでアクセスできるようにします。そこには、様々なトピックに合わせたジャーナル、本、DVDなどの様々な資料の情報が提供されています。

また、このコラボレーションしている授業では、図書館司書に相談しながらレポートのテーマを「修正する」という作業もしていました。もちろん、図書館司書の方がレポートのテーマ設定をしてくれるわけではありません。テーマ設定の部分は学習支援センターと連携しています。

図書館との連携はその先です。テーマに関連した文献や資料はどこにあるのかの相談にのってもらいます。この結果次第で、テーマの方向性を修正したり、絞ったり、広げたりというアドバイスも行っていました。

3つめの発見は、2つめと関連していることですが、教員と協働で学生を支援している、という点です。教員は図書館の人がいなければ授業が成り立ちませんし、図書館の人は教員と協働で学生をサポートすることにより、学生との関わりを持つことができます。

結果、学生と図書館が関わりを持つことにより、学生も「知っている顔」がいる図書館によく通うようになります。「自ら学習する場」として理想的な場所である図書館を、創価大学の学生さんにも最大限に利用してほしいと思っています。

山崎めぐみ先生 略歴

1991年 玉川大学 文学部教育学科 初等教育専攻 学士号

1995年 ミネソタ大学 International Development Education 専攻 修士号

2002年 ミネソタ大学 Comparative International Development Education 専攻 博士号

1995年 ミネソタ大学 College of Education and Human Development アカデミックアドバイザー

1998年 ミネソタ大学 General College アカデミックアドバイザー、キャリアプランニング / フレッシュマンセミナー担当

2004年 メトロポリタン州立大学 Interdisciplinary Studies 准教授

2010年 創価大学 学士課程教育機構 准教授

図書館からのお知らせ

本学「全学読書運動 Soka Book Wave」が 私立大学図書館協会賞を受賞決定

全国の私立図書館527館（私立大学の約9割）が加盟している私立大学図書館協会から、本学「全学読書運動 Soka Book Wave (SBW)」が平成23年度協会賞に選ばれました。

SBWは2004年から開始され、長期にわたってホームページ等で多面的な情報提供をし、一般的なりテラシー教育よりも読書活

動に重点をおいていることが高く評価されました。

この活動は学生の推進団体 SokaReadingProject (SRP) と図書館スタッフによって運営され、年間約2000名の学生の利用によって約8000件の感想・レビューが提出されています。



↑ 活動の1つである「読書展」の様子

ウェブサイトがリニューアル



ウェブサイトのリニューアルに伴い、「My Season」が「My Library」に名称変更しました。これまでに引き続き、貸出状況や予約状況などをご自宅のパソコンからでもご確認いただけます。

機関リポジトリでは学内の研究論文等を公開しております。正式公開は随時行っていく予定です。データベースと合わせてご利用ください。

創価大学図書館では約80種類のデータベースを導入しております。館報「SEASON」vol.15、vol.16等でもご紹介しておりますので、バックナンバーからご覧ください。